



## 第6号

### とんぼ発見!!

ゴールデンウィークを間近に迎えた4月末日、私は、クロメダカたち（帷子川原産）は無事に冬越できたのだろうかと気になり、レンガ通りの「とんぼ池」をのぞきに行きました。その時、池に植えられたショウブの葉陰でチラチラ動いているものに気付きました。そっと近づき目を凝らしてみると、そこにはなんと、小さなトンボが留まっているのです。イトトンボという種類です。体長は3cmにも満たない小型のトンボです。春の陽光を受けて水面から発せられる光線が、その小さく透き通った羽に反射してキラキラ光っています。羽化したての子なのでしょう。傷もなく本当にきれいです。体の構造は、大空を自由自在に飛び回るのに都合良く設計されており、まるで小さな精密機械のようです。繊細かつ無駄なくデザインされた姿は機械以上の出来映えです。自然の造形が醸し出す美しさを目の当たりにし、思わずため息をもらしてしまいました。

日本全国には、みなさんがよくご存じの、シオカラトンボやアカトンボを始めとして、180種類を越えるトンボが生息しています。イトトンボの仲間はそれらの中でも小型の部類に属しています。体が小さいのであまり目立ちませんが、良く探してみれば、意外に身近な場所でも観察することができます。また、イトトンボの仲間は小型ですが、美しい色彩を持つ種類も多いのです。



「東中とんぼ池」を訪れてくれた彼の素性が知りたくなり専門家に尋ねてみることにしました。種の同定（正しい種類を決めること）は、日本蜻蛉学会会員・加須屋 真さんにお願ひしました。その結果、**アジアイトトンボ**という種類であるということが判明しました。みなさんも、ぜひ、東中を歩き回りながら自然観察をしてみてください。色々な発見があると思います。



ここで、アドバイスを一つ。トンボを観察するときは、息を殺して、気配を消すように、そっと近づいてください。彼らは思いのほか敏感で、逃げ足も早いのです。他の種類のトンボを見つけたら、また、紹介しようと思います。みなさんも、何か発見があったら私に教えてください。お待ちしております。

どなたか草木染め **草木染め講師 募集中** の講師をお願いできないでしょうか。既に、道具は揃えてありますし、材料は東中の中に無尽蔵といえるほどあります。教えていただける方は、下記連絡先までお願いいたします。

横浜市立若葉台東中学校 TEL 045-921-1060 教諭 鈴木 徹